

# システム MTU の設定

・ システム MTU の設定, 1 ページ

# システム MTU の設定

このモジュールは、Cisco Catalyst 3650 シリーズ スイッチおよび Catalyst 3850 シリーズ スイッチ システムの最大伝送ユニットの設定方法について説明します。

### 機能情報の確認

ご使用のソフトウェアリリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報および警告については、使用するプラットフォームおよびソフトウェアリリースの Bug Search Tool およびリリース ノートを参照してください。このモジュールに記載されている機能の詳細を検索し、各機能がサポートされているリリースのリストを確認する場合は、このモジュールの最後にある機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索 するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、http://www.cisco.com/ go/cfn からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

### **MTU**に関する情報

すべてのスイッチインターフェイスで送受信されるフレームのデフォルト MTU サイズは、1500 バイトです。

#### システム MTU の制約事項

システム MTU 値を設定する場合、次の注意事項に留意してください。

・スイッチはインターフェイス単位では MTU をサポートしていません。

 system mtu bytes グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力すると、このコマンド はスイッチ上のすべてのポートに影響します。

### システム MTU 値の適用

次の表では、MTU 値の適用方法を示します。

#### 表 1: MTU の値

設定	system mtu コマンド	ip mtu コマンド	ipv6 mtu コマンド
スタンドアロンスイッ チ	スイッチで system mtu コマンドを入力できま すが、スイッチでシス テム MTU 値は有効に なりません。ファスト イーサネットポートに 影響します。 指定できる範囲は1500 ~9198 バイトです。	<b>ip mtu</b> bytes コマンドを 使用します。 範囲は 832 ~ 1500 バイ トです。 (注) IP MTU 値 は、適用可能 な値ですが、 設定できませ ん。	<b>ipv6 mtu</b> bytes コマンド を使用します。 指定できる範囲は1280 からシステムジャンボ MTU値 (バイト単位) までです。 (注) IPv6 MTU値 は、適用可能 な値ですが、 設定できませ ん。

IP または IPv6 MTU 値の上限は、スイッチの設定に基づいており、現在適用されているシステム MTU 値を参照しています。MTU サイズの設定については、このリリースのコマンド リファレン スの system mtu グローバル コンフィギュレーション コマンドを参照してください。

### システム MTU の設定

### システム MTU の設定

手順の概要

- 1. enable
- 2. configureterminal
- 3. system mtu bytes
- 4. exit
- 5. show system mtu

#### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。
	<b>例:</b> Switch> enable	•パスワードを入力します(要求された場合)。
ステップ2	configureterminal	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
	<b>例:</b> Switch# configure terminal	
ステップ3	<b>system mtu</b> bytes 例: Switch(config)# system mtu 1600	スイッチまたはスイッチ スタックのすべてのイーサネット インターフェイスの最大伝送ユニット(MTU)サイズを適 用します。 •MTU の範囲は 1500 ~ 9198 です。デフォルトは 1500 です。
ステップ4	exit 例:	グローバルコンフィギュレーションモードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 5	show system mtu	設定されたグローバル MTU サイズを表示します。
	例: Switch# show system mtu	

### Protocol-Specific MTU の設定

システムの MTU が変更されると、インターフェイスの ip mtu コマンドの範囲も変更されます。

#### 手順の概要

I

- 1. enable
- 2. configure terminal
- **3.** interface *type number*
- 4. ip mtu bytes
- 5. ipv6 mtu bytes
- 6. end
- 7. show system mtu

1

#### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。
	<b>例:</b> Switch> enable	•パスワードを入力します(要求された場合)。
ステップ2	<b>configure terminal</b> 例: Switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始しま す。
ステップ3	<pre>interface type number</pre>	インターフェイスを設定し、インターフェイス コンフィ ギュレーション モードを開始します。
ステップ4	<b>ip mtu</b> bytes 例: Switch(config-if)# ip mtu 900	各インターフェイスにおいて送信される IP パケットの最 大伝送単位(MTU)サイズを設定します。 ・範囲は 832 ~ 1500 です。
ステップ5	ipv6 mtu bytes 例: Switch(config-if)# ipv6 mtu 1300	インターフェイス上で送信する IPv6 パケットの MTU サ イズを設定します。 ・範囲は 1280 ~ 1500 です。
ステップ6	end 例: Switch(config-if)# end	インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了 し、特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ1	show system mtu 例: Switch# show system mtu	設定されたグローバル MTU サイズを表示します。

# システム MTU の設定例

### 例:システム **MTU** の設定

Switch# configure terminal Switch(config)# system mtu 1600 Switch(config)# exit

I

### 例:プロトコル固有の MTU の設定

Switch# configure terminal Switch(config)# interface gigabitethernet 0/0 Switch(config-if)# ip mtu 900 Switch(config-if)# ipv6 mtu 1286 Switch(config-if)# end

## システム MTU に関する追加情報

#### MIB

МІВ	MIBのリンク
本リリースでサポートするすべての MIB	選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリー ス、およびフィーチャ セットに関する MIB を 探してダウンロードするには、次の URL にあ る Cisco MIB Locator を使用します。 http://www.cisco.com/go/mibs

#### シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのサポート Web サイトでは、シスコの 製品やテクノロジーに関するトラブルシュー ティングにお役立ていただけるように、マニュ アルやツールをはじめとする豊富なオンライン リソースを提供しています。	http://www.cisco.com/support
お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報を 入手するために、Cisco Notification Service (Field Notice からアクセス) 、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。	
シスコのサポート Web サイトのツールにアク セスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパ スワードが必要です。	

1

# システム MTU の機能情報

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE	この機能が導入されました。